

福祉のまちづくり懇談会(H27.7.25 土曜開催・どなたでも)ニュース

◆当日の振り返り

今回の懇談会は土曜日開催ということで、平日にはなかなか参加できなかった方、そして小学生と、市内市外の各所から14名が参加していただき「清瀬市の困りごと、気になること」をグループごとに話し合いました。10～80代まで幅広い年代の方々により、様々な視点から意見の交換・発表ができたのではないのでしょうか。

◆地域の困りごと・気になること

各グループからより多くでた意見です。

- ・【**助け合いの壁**】…「福祉のまちづくりについて、どんな活動をしているのか、わかりにくい」また「困っているように見えても、声をかけてよいのか」、「助け合いは各々のプライドがあって難しそう」等助け合いを難しく感じている方がいらっしゃいました。
- ・【**子どもの安全**】…「学校帰りの畑道は暗い」、「公共施設で遅くまでゲームをしている」、「子どもが困っていても気軽に大人に話せない」と子どもを守る環境に意見がでました。
- ・【**自転車の乗り方**】…「自転車の乗り方、マナーの向上をしてほしい」という声が多くあがっています。
- ・【**災害**】…「災害時の避難場所」、「一人暮らしで火事があったら心配」、「災害袋のメンテナンスが大変」といういざという時に準備に不安の声があがりました。



◆地域にほしい取り組み

これらの問題を踏まえて、あったらいいと思う取り組みを話し合い、「一人でもできそうなこと」、「何人かいればできそうなこと」、「地域全体で頑張ればできそうなこと」の3つに分類しました。

- ・【**助け合いの壁**】には、「近所の人と挨拶、仲よく」、「住民の(声なき)ニーズの聞き取り」、「地域コミュニティの成熟」
- ・【**子どもの安全**】には、「子どもの居場所をつくる」、「子どもに遊びを教えたり、一緒に遊ぶボランティアをつくる」
- ・【**自転車のマナー**】には、「自転車マナー講座の開催」、「自転車のマナーをSNS(ネット情報)で若い人に伝える」、「子どもから大人まで基本的なマナーやルールを守る」
- ・【**災害**】には、「災害をシュミレーションし、備蓄食品を食べる(交換する)日をつくる」



◆次回の懇談会にむけて

参加者の方から「テーマ別の懇談会をしていきたい」と意見がありました。今後もより多くの方に参加をしていただき、地域の方とともに住みやすい福祉のまちづくりを目指していきたいと思っております。